



## ～今年の活動報告～

昨年の12月に委員会だより（第3号）を発行してから、早いもので8ヶ月が経ちました。その間委員会では、2月9日の第8回推進委員会において、今後、小中一貫教育の実施に向けた具体的な準備を進めるべく、組織の改正を行いました。

また、新しい小中一貫教育校の校名についても大栄地区の皆さまから募集することを決定し、4月15日から5月31日にかけて募集を行ったところです。

その結果、地区の皆さまからたくさんの応募をいただきましたので、その内容についてお知らせいたします。

なお、校名につきましては、今後委員会において絞り込みや選定作業を行い、その結果についても「委員会だより」にて皆さまに報告いたします。

### 第8回推進委員会（2月9日）

#### 組織改正や校名募集を協議

第7回推進委員会において決定した、①推進委員会の名称の変更 ②5つの専門部会の設置 ③校名の公募実施について、具体的な内容を協議しました。

名称については、今後小中一貫教育を目指し、具体的な検討を行っていくため、「大栄地区小中一貫教育準備委員会」へと改めるとともに、新たに5つの専門部会（1. 学校運営教職員連携部会 2. 教育課程部会 3. 生徒指導部会 4. 行事・交流活動部会 5. 地域連携部会）を設置するよう、規約の変更及び実施要項の制定を行いました。

また、校名募集についても、大栄地区在住、在勤、在学の方を応募対象とすること等を定めた募集要項について、承認をいただきました。

### 平成28年度の活動を開始しました。

年度が切り替わり、新たな準備委員会のメンバーを迎えて、今年度の活動を開始しました。

また、各専門部会での検討もスタートしており、今後は開校に向けて、具体的な内容の協議を行ってまいります。

なお、8月4日には、第1回準備委員会を開催し、校名募集結果の報告等を行いました。詳細については次号の「委員会だより」でお知らせいたします。

### 平成28年度

#### 準備委員会のメンバー（敬称略）

- ◎加藤 智明（津富浦学区）※委員長
- 石田 広子（大須賀学区）
- 平野 幸一（桜田学区）※副委員長
- 高橋 照典（前林学区）
- 遠藤 昇（川上学区）
- 玉井 實（区長会長）
- 飯嶋 孝（青少年健全育成協議会会長）
- 鈴木 昭夫（青少年相談員地区会長）
- 長島 順子（大栄中PTA代表）
- 濱田 静（大須賀小PTA会長）
- 山崎 和恵（桜田小PTA代表）
- 高橋 良和（前林小PTA会長）
- 飯森 真由美（津富浦小PTA副会長）
- 石井 一男（川上小PTA会長）
- 野田 武志（大栄幼稚園PTA会長）
- 飯笹 恒樹（大栄保育園保護者代表）
- 渡邊 邦明（大栄中学校長）
- 宮田 照子（前林小学校長）※副委員長
- 麻生 辰浩（大栄中教頭）
- 寺島 正史（大須賀小教頭）
- 渡邊 勝久（桜田小教頭）
- 宮崎 敏和（前林小教頭）
- 人見 清悦（津富浦小教頭）
- 寺内 勝也（川上小教頭）
- 秋山 忍（市議会議員）※顧問
- 福島 浩一（市議会議員）※顧問

## 校名募集結果

大栄地区への区長回覧や、地区内の小中学校や幼稚園・保育園を通して保護者の方に校名募集のチラシを配付したところ、皆さまから83件（同じ校名での応募があったため、校名数としては63件）の応募をいただきました。大栄地区の皆さまにもご確認いただきたいと思いますので、応募いただいた全校名案を掲載いたします。

愛栄学園	青葉学園	栄光学園	栄煌学園
栄須	大桜前津川学園	大桜前津川大中学園	
大須賀昭栄学園	大空学園	希望学園	桜ヶ岡学園
桜学園	桜台学園	さつまおか学園	下総栄学園
真思学園	成栄学園	大栄あおぞら学園	大栄青空学園
大栄青葉学園	大栄大須賀桜前津川学園		大栄輝き学園
たいえい学園	大栄学園	大栄季節学園	大栄国際学園
大栄さくら学園	大栄自然学園	大栄小・中学校	大栄小学校
大栄小中学園	大栄小中学校	大栄誠実小中学校	大栄総合学園
大栄太陽学園	大栄だるま学園	大栄中央小中学校	大栄つばさ学園
大栄白亜学園	大栄ひかり学園	大栄ふじのはな学園	大栄ふじのはら学園
大栄フレンドリー学園		大栄ほしぞら学園	大栄星空学園
大栄みのり学園	大栄みらい学園	大栄未来学園	大栄若葉学園
大翔学園	大成学園	大輪小中学校	ちょう大栄学園
なかよし学園	成田希望小中学校	成田つばさ学園	新田山学園
晴の空学校	ひかり学園	ひかり桜学園	ひばり学園
松野小学校	友好学園	（※50音順、同一校名は一つにまとめてあります。）	

校名募集では、小中学生のほか保護者や地区の方などから、多くの応募をいただきました。

また、応募者の年齢も幼稚園児から80代までと幅広い年代から応募をいただき、大変有り難く感じております。

それぞれの校名に、将来への希望や地域愛など、作成者の思いが込められており、甲乙つけがたいところもございますが、大栄地区の新しい学校名として、どのような名前が良いのか、今後、準備委員会等で慎重に検討してまいります。